

無憂樹

令和6年7月号

浄尊寺
熊本市西区田崎
1-4-39
TEL・FAX
096-354-6530

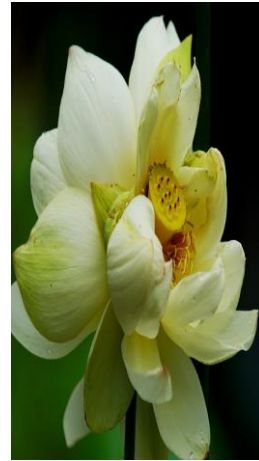


(浄尊寺 双頭蓮 中本様撮影)

幸せとは？

連日雨の日が続いており梅雨本番といった感じですが、蒸し暑い日が終わると次は夏本番・・・熱中症には気をつけていきたいものです。

当寺では毎年蓮の花を育てており、もう育てはじめて20年になります。最初は数鉢からはじめて今では40鉢ちかくになり、今年も多くの花が咲いてくれております。そんな中で先月手入れをしている時に、出てきた蕾を見たら蕾が2つについて鉢を発見しました。



通常蓮の花は1つの茎に1つの蕾をつけ花を咲かせるのですが、ごく稀に(50年〜100年に一度ともいわれる)突然変異で1つの茎に2つの蕾をつけ花を咲かせることがあり、それを双頭蓮といいます。双頭蓮は「日本書記」にも記述があり、古来より嬉しいことがおきる前兆、見れたら幸せになれるとの言い伝えがあるそうです。

双頭蓮の存在は以前から知っていたのですが、実際に見れるとは思っていなかったのが本当に嬉しく感動しました。蕾からみまもり花が咲いてくれたのですが、その咲いた花を見ながらふと見れたら幸せになれるという言い伝えを思い出し考えさせられました。「自分の幸せとはなんだろうか」ということです。「美味しいものを食べれることが幸せだろうか・・・健康でいれることが幸せだろうか・・・」

て死んでいかなければいけないと教えてくださいます。そういったくならば私が幸せだと思っしていることは、最後には全部手放していかなければいけません。浄土真宗では阿弥陀如来という仏さまに手をあわせます。そんな私をただ死んでいくのちにはさせない、必ず仏にすると誓ってくださいました。そのはたらきが南無阿弥陀仏となつて私とご一緒してくださいさつておられます。

双頭蓮、そして育てている蓮の花からあらためて南無阿弥陀仏申しなさいと教えてもらおう今日この頃です。